

死亡事故の発生状況

「死亡(死者)」とは、交通事故によって発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。ただし、「30日死者の事故」の項では、「死者」を「24時間死者」という。

68件

【死亡事故の特徴】

70人

○死者数は統計が残っている昭和23年以降、最小

令和3年中の死者数は、前年に比べ1人(-1.4%)減少した。

○高齢死者の割合が半数を占める

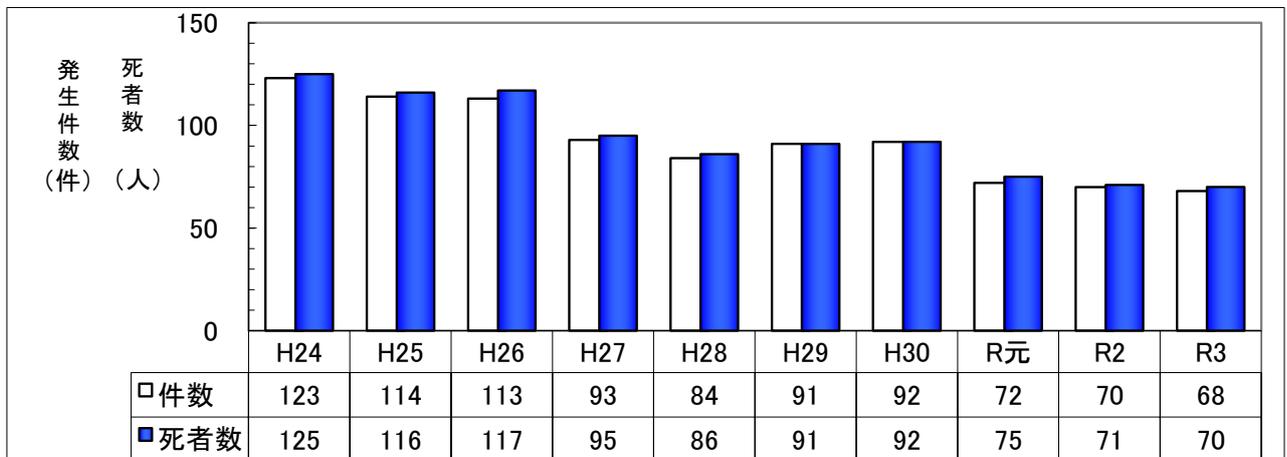
年代別死者数では、高齢者が39人(前年比+3人)で最も多く、全死者の55.7%を占めた。

○歩行中の死者数が最も多い

歩行中の死者数は、31人で前年に比べ3人(+10.7%)増加した。

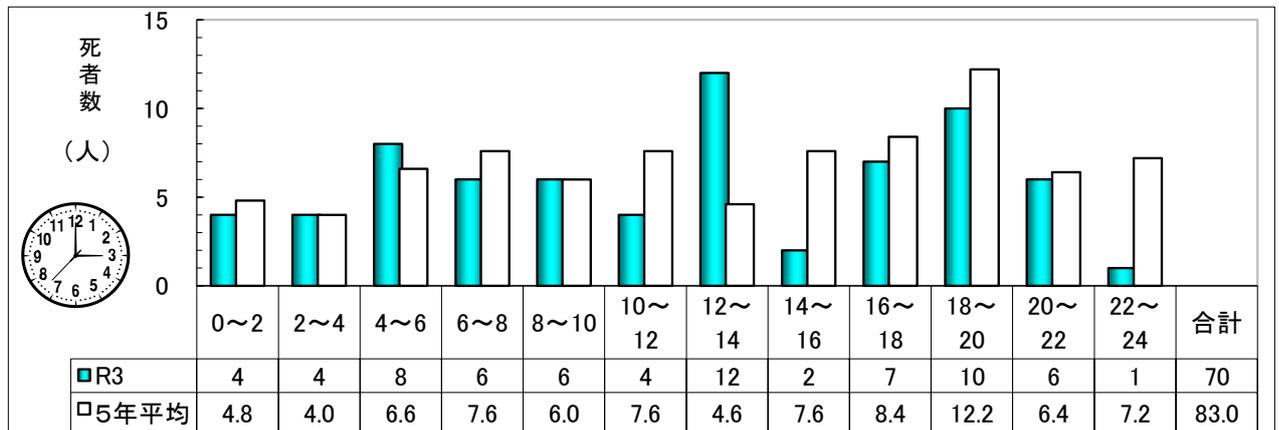


● 過去10年間の推移



● 時間帯別死者数

※「5年平均」とは、平成28年から令和2年の死者数の平均をいう。

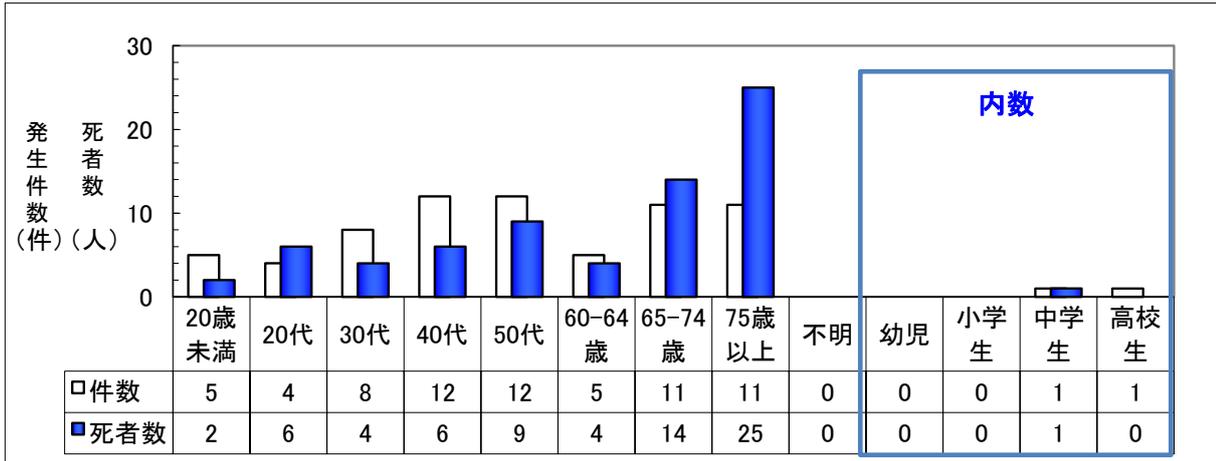


● 道路形状・事故類型別死者数

※「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

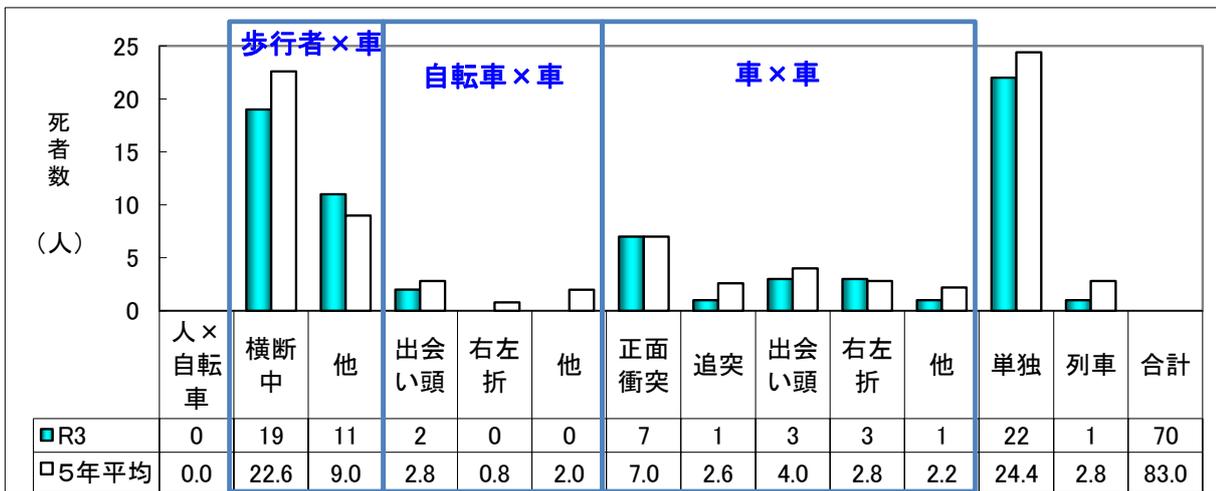
道路形状 事故類型	交差点			単路	踏切	その他	合計
	信号有	信号無	計				
歩行者×車	6	16	22	6	0	2	30
自転車×車	0	2	2	0	0	0	2
車×車	3	4	7	8	0	0	15
車単独	1	5	6	16	0	0	22
列車	0	0	0	0	1	0	1
合計	10	27	37	30	1	2	70

● 年齢層別発生状況

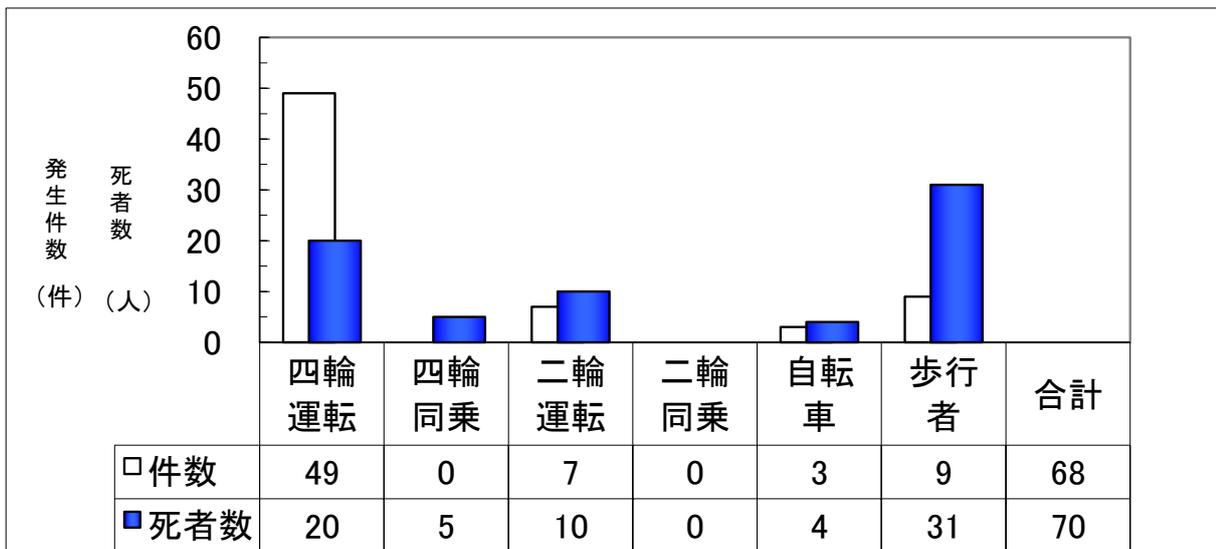


※ 件数は、事故の第1当事者の年齢層で、死者数は死亡した本人の年齢層である。

● 事故類型別死者数



● 状態別発生状況



※ 件数は、事故の第1当事者の状態別で、死者数は死亡した本人の状態である。